

◎科学技術における研究開発のための協力に関する日本国政府とアメリカ合衆国政府との間の協定の有効期間の延長に関する交換公文

(略称) 米国との科学技術研究開発協力協定の有効期間延長取極

昭和六十三年 三月三十一日 ワシントンで
昭和六十三年 三月三十一日 効力発生
昭和六十三年 五月二十六日 告示

(外務省告示第二八二号)

目 次

日本側書簡	二九〇七
米国側書簡	二九〇九

(科学技術における研究開発のための協力に関する日本国政府とアメリカ合衆国政府との間の協定の有効期間の延長に関する交換公文)

(日本側書簡)

(訳文)

書簡をもつて啓上いたします。本使は、千九百八十年五月一日にワシントンで署名され、千九百八十五年四月二十六日、千九百八十七年四月二十八日、千九百八十七年十月二十七日及び千九百八十八年一月二十九日に交換された書簡によつて延長された科学技術における研究開発のための協力に関する日本国政府とアメリカ合衆国政府との間の協定の延長に関する両政府の代表者の間における最近の討議に言及するとともに、前記の協定は、同協定第九条に基づき、千九百八十八年六月三十日まで延長されるものとするを、日本国政府に代わつて提案する光榮を有します。

本使は、更に、前記の提案がアメリカ合衆国にとつて受諾し得るものであるときは、この書簡及び閣下の返簡が、両政府間の合意を構成するものとするを提案する光榮を有します。

本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かつて敬意を表します。

千九百八十八年三月三十一日にワシントンで

米国との科学技術研究開発協力協定の有効期間延長取極

Excellency,

I have the honor to refer to the recent discussions between the representatives of the Governments of Japan and the United States of America concerning the extension of the Agreement between the Governments of Japan and the United States of America on Cooperation in Research and Development in Science and Technology, signed at Washington on 1 May, 1980 and extended by the notes exchanged on 26 April, 1985, 28 April, 1987, 27 October, 1987, and 29 January, 1988, and to propose on behalf of the Government of Japan that, pursuant to Article IX thereof, the said Agreement will be extended until 30 June, 1988.

If the above proposal is acceptable to the United States of America, I have further the honor to suggest that this note and Your Excellency's note in reply shall constitute an agreement between the two Governments.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

For the Ambassador Extraordinary

(Japanese Note)

Washington, March 31, 1988

米 国 と の 科 学 技 術 研 究 開 発 協 力 協 定 の 有 効 期 間 延 長 取 極

日 本 国 特 命 全 權 大 使 に 代 わ る 野 村 一 成

合 衆 国 国 務 長 官 ジ ョージ・P・シュルツ閣下

二 九 〇 八

and Plenipotentiary of Japan

(Signed) Issei Nomura

His Excellency
George P. Shultz
The Secretary of State
of the United States of America

(米 国 側 書 簡)

訳文)

書簡をもつて啓上いたします。本長官は、本日付けの閣下の次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

(日本側書簡)

本長官は、更に、前記の提案がアメリカ合衆国にとつて受諾し得るものであることを、アメリカ合衆国政府に代わつて確認するとともに、閣下の書簡及びこの返簡が、両政府間の合意を構成するものとすることに同意する光栄を有します。

本長官は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かつて敬意を表します。

千九百八十八年三月三十一日にワシントンで

合衆国国務長官に代わる

ピーター・ジョン・ディ・ヴォス

日本国特命全権大使 松永信雄閣下

米 国 と の 科 学 技 術 研 究 開 発 協 力 協 定 の 有 効 期 間 延 長 取 極

(U.S. Note)

Washington, March 31, 1988

Excellency,

I have the honor to acknowledge the receipt of Your Excellency's note of today's date, which reads as follows:

(Japanese Note)

I have further the honor to confirm on behalf of the Government of the United States of America that the above proposal is acceptable to the United States of America and to agree that your Excellency's note and this note in reply shall constitute an agreement between the two Governments.

I avail myself of this opportunity to renew to your Excellency the assurance of my highest consideration.

For the Secretary of State

(Signed) Peter John De Vos

His Excellency
Nobuo Matsunaga
Ambassador Extraordinary
and Plenipotentiary of Japan

(参考)

この取極は、昭和五十年五月一日に署名され、昭和六十年四月二十六日、昭和六十二年四月二十八日、昭和六十二年十月二十七日及び昭和六十三年一月二十九日に交換された書簡（昭和六十年、昭和六十二年二国間条約集及び本条約集参照）によって延長された米国の科学技術研究開発協力協定（昭和五十年二国間条約集参照）の有効期間を更に昭和六十三年六月三十日まで延長するものである。